

立教大学大学院理学研究科大学院生支援制度一覧(2018年度)

*2017年度実績

名称	応募資格	支給期間	支給額	募集時期	採用人数*
1 日本学生支援機構奨学金(第一種) <貸与奨学金>	正規課程に在籍する学生。ただし、最短修業年限を越えて在籍する者、外国人留学生は出願不可。	最短修業年限	前期課程 月額50,000円、88,000円から選択 後期課程 月額80,000円、122,000円から選択	新入生 4月上旬 在学生 2月下旬	前期課程 14名 後期課程 3名
2 日本学生支援機構奨学金(第二種) <貸与奨学金>	正規課程に在籍する学生。ただし、最短修業年限を越えて在籍する者、外国人留学生は出願不可。	最短修業年限	5万、8万、10万、13万、15万から選択	新入生 4月上旬 在学生 2月下旬	前期課程 1名 後期課程 0名
3 大学院給与奨学金	正規課程に在籍する学生。	1年	前期課程 30万円/年 後期課程 40万円/年	新入生 4月上旬 在学生 2月中旬	前期課程 26名 後期課程 7名
4 理学部創立30周年記念奨学金	理学部および理学研究科に在籍する学生。	1年	30万、20万、10万のいずれか	9月中旬	1名
5 理学部創立50周年記念海外活動助成金	理学研究科に在籍する学生で、当該年度内に海外で活動する者。海外活動期間中及び申請期間中は本学に在学していなければならない。	1年	1件につき15万円	第1回 6月上旬 第2回 12月上旬	第1回 4名 第2回 2名
6 理学研究科プロジェクトRA制度	理学研究科博士課程後期課程に在籍する学生。	1年	1,500円/時間、年640時間まで	2月末	5名
7 学会発表奨励金(国内)	正規課程に在籍する学生。	年2回まで	一律10,000円(首都圏)、一律30,000円(首都圏以外)	随時	74名
8 学会発表奨励金(海外)	正規課程に在籍する学生。	年1回まで	一律50,000円	随時	6名
9 学術推進特別重点資金(立教SFR) 「大学院学生研究(パッケージ型)」	正規課程に在籍する学生。休学者は申請不可。なお、申請にあたっては「日本学術振興会特別研究員」への申請が義務となるため詳細は募集要項で必ず確認すること。	単年度	1件につき上限50万円	4月上～中旬	5件
10 学術推進特別重点資金(立教SFR) 「大学院学生研究(研究発表支援)」 <2017年度新設>	正規課程に在籍する学生。休学者は申請不可。 *学会発表奨励金、理学部創立50周年記念大学院学生海外活動助成金以外の資金との併給・合算使用は不可。	1申請者につき国内・海外合わせて1回。また1発表につき1名のみ。	(国内) 北海道・中国・四国・九州・沖縄:5万円 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県:1万円 その他:3万円 (海外) A地方:10万円 シンガポール、ロス・アンジェルズ、ニュー・ヨーク、サン・フランシスコ、ワシントン、ジュネーブ、ロンドン、モスクワ、パリ、アブ・ダビ、ジェッダ、クウェイト、リアド、アビジャン B地方:5万円 A地方を除く地域	年2回 先着順、予算上限に達した時点で締切	全学科(第1回、第2回)計39名のうち理学研究科21名
11 学術推進特別重点資金(立教SFR) 「大学院学生研究(論文投稿支援)」 <2017年度新設>	正規課程に在籍する学生。休学者は申請不可。	1人あたり1件まで。	1論文あたり15万円以内	随時受付 予算上限に達した時点で締切	全学科 計2名(うち理学研究科0名)
12 ティーチングアシスタント制度	正規課程に在籍する学生。	1年	職種によるため、詳細は下記職種概要表を参照	4月上旬	192名(院生のみ実績)

問い合わせ先:1～3, 7, 8については学生厚生課、4, 5については学生厚生課および学部事務3課、9～11についてはリサーチ・イニシアティブセンター、6, 12については指導教員

職種概要表

区分	従事できる対象者	主な業務内容	給与/コマ	週あたりの勤務時間/コマ
SA	学部学生・ 大学院学生 ※1	資料配付、出欠確認、等の補助業務	22,500円	90分
Junior TA (JTA)	学部学生・ 大学院学生※1	SA業務の他、実験・実習補助、ピアティーチング、初年次学生への指導補助	39,000円	120分
Middle TA(MTA)	大学院学生※1	Junior TA業務の他、学生指導補助、等	51,000円	120分
Senior TA(STA)	大学院学生 後期課程在籍者※2	Middle TA業務の他、課題添削補助、試験・レポートの採点補助、授業運営補助、等	75,000円	150分

※1 研究生、研修生、及び法務研究生を含む。
※2 研究生を含む。